

# 手外科シリーズ

## 12. 屈筋腱損傷



監修  
一般社団法人  
日本手外科学会広報委員会



制作  
エーザイ株式会社

12

くっ きん けん そん しょう

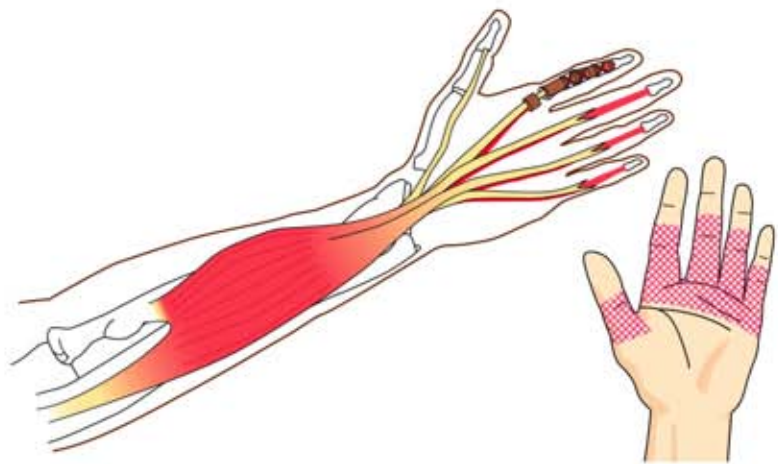
# 屈指腱損傷 (新鮮例)

## ● 症状 ●

指を曲げる腱（屈指腱）が切れると指は曲がらなくなります。指の血管や神経も同時に切れることも少なくありません。



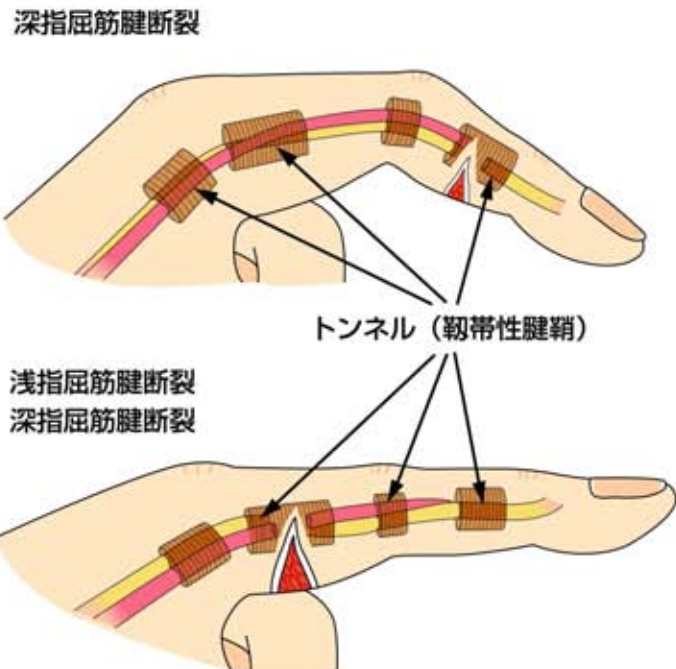
親指では1本、他の指では2本の腱があります。図の網かけ部分にはトンネルがあって、その部位は特に治療が困難です。



## ● 原因・病態 ●

切り傷や刺し傷などで屈指腱が断裂します。

腱が切れると力が伝わらないため、指は曲がりません。



## ● 診断 ●

けがをした指が曲がらないことで診断がつきますが、母指以外は2本の屈筋腱があって両方切れた場合やそのどちらか一方が切れた場合には、指の曲がり方が異なります。



**深指屈筋腱だけが切れた場合**  
普通に握ると第1関節だけが曲がらない



**浅指屈筋腱・深指屈筋腱両方が切れた場合**  
第1関節・第2関節とも曲がらない

## ● 治療 ●

受傷後早い時期なら腱をつなぐ手術を行います（腱縫合術）。けがの部位や程度、腱の断端の状況で縫い方も後療法も異なりますので主治医の指示に従ってください。

けがをしてから数週間以上経過していて、切れた腱が縫合できない場合は、腱の移植が行われることもあります（腱移植術）。

手術後の後療法（リハビリテーション）がとても大切です。手術後3週間程ギプスなどで固定する場合と、装具などを使って早期から指を動かしてゆく場合があります。

